



- 自学・自立
- 思いやり・感謝
- 鍛錬

空を飛ぶジャンプを見て想ったこと～新たな舞台で自分らしく輝くために～

校長 辻 成一郎

梅の花がほころび始めましたが、いまだに多くの新型コロナの感染者が発生し、十代以下の感染率も高く、教育活動への影響も心配されています。

しかし、3年生は受験に向きあいつつ、落ち着いた日々を送ってきました。廊下掲示の互いへのメッセージや卒業へのカウントダウンカレンダーを見ると、不安に立ち向かい、みんなで頑張ってきたのがよくわかります。2年生は、初めての宿泊行事「スキー教室」を、1年生も本格的な学年行事「川越校外学習」を、成功させ、その後も平常通りの学校生活を送っています。ありがたい限りです。

そのような状況の中、オリンピックでの熱戦が繰り広げられました。日本選手の活躍も多く伝えられ、メダリストたちは私たちに感動を与えてくれました。しかし、それ以上に、全力を尽くす過程にドラマがあり、学ぶべき生き方や考え方があるように思うのです。

その一つに、スキージャンプ混合団体での日本選手たちの姿がありました。

1回目を最初に飛んだ高梨沙羅選手は、103mの素晴らしいジャンプでした。2日前、個人ノーマルヒルで結果が出せず、涙を浮かべていたのは別人のようでした。

実は、彼女は、厳しくなるルールの中で、勝利を重ね、オリンピックでの金メダルを期待されながら、何度も試練を味わってきました。

チェコのワールドカップでは、体重が落ちてしまい、体重と身長で決まるスキーの長さが、規定違反となり、失格となりました。ソチオリンピック本番では、ゲートの位置決めで新しいルールが導入され、スタートや踏切がうまく調整できず、追い風でたたきつけられそうにもなり、9位でした。

去年のワールドカップのオーストリア大会でも、スーツで失格になっています。しかし、次の日の試合は優勝しています。

ルール変更や苦難の中、高梨選手は、ワールドカップで60勝以上をあげた過去の栄光にしがみつかず、飛び方を変え、技術を磨き、挑戦し続け、常に世界トップレベルで戦い続けてきました。

その成果が、この1回目のジャンプでした。しか

し、直後にスーツの違反で失格になりました。そのショックの中で、彼女は、2回目に98.5mのジャンプをして順位を上げました。同級生でもある金メダリスト小林陵侑選手は「本当に強くなって思います。」と述べています。



《読売新聞オンラインより》

想定外の出来事に、わずかな時間で気持ちを立て直し、次に向かう姿は見事でした。彼女は、過去の経験と努力から、その力を身につけてきました。そのことこそが素晴らしいと思うのです。

そして、素晴らしかったのは、日本チームの他の選手たちも同じでした。最後まで誰もあきらめず、自分のできる限りの役割を果たし、決勝では順位を上げ、メダルまであと一歩と迫るジャンプを見せました。泣きながら、祈るように他の選手のジャンプを見つめ、2回目の小林陵侑選手の最後のジャンプの後、崩れ落ちた高梨選手でしたが、みんなの想いは、落胆と後悔に襲われてはいても、しっかり届いてははずです。共に力を合わせて何かを乗り越えるために必要なのは、誰かを非難することではなく、己のベストを尽くすことでした。

我々の人生の中でも、想定外のことは起こりません。それでも何かをやり遂げなくてはならない時、自分を支えてくれるのは、日頃の最大限の力を尽くした工夫や努力なのだと思います。それと、周りの仲間たちです。

まもなく年度が替わります。新たな舞台に上がる生徒たちには、どんなことがあっても、自分らしく生きていくことを忘れず、今どうすればいいのかを考え、周りの人の力を借りながら、前向きに行動できる人になってほしいと思います。

新たな自分に挑む気持ちを忘れずに、空気を切り裂いて自分だけの大空に羽ばたいてほしいなと、ジャンプを見ながらそんなことを考えていました。

みんなで素晴らしい卒業式を迎え、次の年度に進んでいきたいものです。

教育活動の紹介

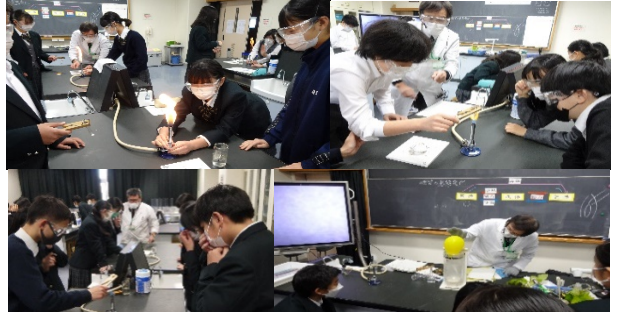
杉並区中学生レスキュー隊・施設見学(1/22 実施)



1月22日(土)に杉並区中学生レスキュー隊が「そなエリア東京」(江東区有明)の施設見学を行いました。この施設は、地震災害後の支援が少ない時間を生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習施設です。
 各校の代表者2名と制限されていたことから、本校からは、2年生の押野さん、高田さんが参加しました。
 コロナ禍で実施が心配されましたが、貴重な体験を周囲の人たちに伝えていってほしいですね。

1年理科出前授業(1/20・21 実施)

済美教育センター理科班の先生方による「理科出前授業」。今年度最後の出前授業は1年生4クラスに対し、「常温とはかけ離れた温度における状態変化」の実験を行っていただきました。
 液体窒素で液体酸素をつくり、それが磁石に引き寄せられたことや、植物をパリパリにしたことが印象に残った生徒が多くいました。
 来年度も7月に2年生、12月に3年生、2月に1年生の出前授業を予定しております。



2年移動教室(1/26~1/28 実施)

2学年にとって初めての宿泊行事「菅平移動教室」。生徒たちは準備に余念がなく、出発にも誰一人遅刻することなく集合しました。
 スキー初心者が半数以上でしたが、2日目にはかなり上達し様々な斜面を滑っていました。
 また宿では美味しいごはんを楽しみ、レクリエーションも大いに盛り上がりました。感染症対策として食事を2回に分けたり1回の入浴の人数を制限したり、就寝時も複数回換気をしながら過ごし、全員無事に帰ってくることができました。



文化発表会展示の部スローガン決まる

3月7日（月）から始まる「文化発表会展示の部」。そのスローガンが決まりました。

「環 自分の色で世界をつなげ」

です。感染状況次第ですが、保護者の皆様方にも公開する予定です。生徒の渾身の作品をぜひご覧ください。



3年メルクマール発表会(2/3)

松溪中学校では「メルクマール」という言葉がよく使われます。意味は「設定した目標に達するまでの道のり、中間目標」です。生徒が3年間、生活していく中で、様々な教育活動を通して、自分がどこまで成長できるのかを設定し、表現する活動です。2月3日（木）に3年生がメルクマールの学年発表会を行いました。それぞれが様々な内容を調べ、自分の言葉でクラスメイトに発表する会です。

自分分野を選び、学習し、発表していく姿に大きく成長した姿が見られました。今後の人生においても「メルクマール」は必要になってきます。より豊かに人生を送るために、1・2年生も学習活動の中で、メルクマール活動を行っています。



小中合同研修会(2/2 実施)

2月2日（水）の5校時から西田小学校、桃井第二小学校との小中合同研修会を実施いたしました。感染状況が悪化したため、各校で行われた研究授業はリモート視聴となりました。

本校では道徳部会から下村優太主任教諭が、数学部会からは加藤郁子主任教諭、飯田峻広教諭、久保恭史教諭の3名が、少人数クラスの授業を行いました。

授業後の研究協議会もリモートで行われ、小学校の先生方と今後の課題について話し合いました。松溪中学校では「小中連携」を重要なテーマとして考えています。コロナ禍においても、可能な限り、児童生徒の交流及び教員間の連携を強化していきます。



1年・校外学習 in 川越(2/3 実施)

2月3日、松溪中で初となる川越校外学習の当日を迎えました。残念ながら、数名が体調不良により欠席となりましたが、冷え込む朝の荻窪とは裏腹に、晴れやかな表情で121名の生徒がバスに乗り込みました。1時間弱の旅路では、どのバス内も穏やかに過ごし、予定の10分前に川越市内の駐車場に到着。いよいよ班行動開始です！

蔵造りの町並みや大正浪漫夢通りには、明治や大正の雰囲気を残す建築物が軒を連ね、まるでタイムスリップしたような雰囲気に歓声があがります。ひときわ高くそびえる川越のシンボル「時の鐘」は、江戸時代から時を告げ、多くの班がフォトコンテストに向けた写真を撮ったようです。

川越市立博物館は、「近世 小江戸川越」、「近・現代 近代都市川越の発展」「中世 武士の活躍と川越」「原始・古代 川越のあけぼの」「民俗 川越の職人とまつり」と、5つのエリアに貴重な文化遺産に関する資料が展示され、見ごたえ抜群。ほぼ松溪中貸し切りの空間で、自分のテーマについて熱心にメモをとったり、係員の方に質問したり、クイズに挑戦したりと、充実した学習の時間になりました。



【表彰】

- 令和3年度杉並区青少年善行表彰（生徒会・JRC部）
- 令和3年度杉並区学校文化栄誉賞（渡邊 宙：3年）
- 東京都読書感想文コンクール優秀賞（竹田結衣：3年）
- 杉並区読書感想文コンクール入選（竹田結衣：3年）
- 佳作（押野愛美：2年）
- 佳作（山口結愛：1年）



ぼちゃリンピック開催 (2/4~2/8 実施)

松溪中学校恒例の生徒会主催「ぼちゃリンピック」が2月4日~2月8日までの3日間、開催されました。有志による16チームのエントリーには、教員・生徒の混合チーム等、生徒も教員もソーシャル・ディスタンスを意識しながら、白熱した戦いが繰り広げられました。優勝チームは「チーム篠澤」。おめでとうございます。生徒会本部の皆さん、ありがとうございました。



先輩の話を聴く会 (2/5 実施)

2月5日(土)に卒業生の方8名をお招きして「先輩の話を聴く会」を実施いたしました。今回は1・2学年7クラスに対し、1人の講師の方が2クラスをまわり、お話していただきました。数十年前に卒業された大先輩からのお話ですので、当時の松溪中学校の話や、現在の仕事、人生観など多岐にわたる話題で、生徒たちは真剣に、時には笑いが起きる、和やかな時間を過ごすことができました。卒業生の皆様方、ありがとうございました。

コロナ禍の中で、開催が危ぶまれましたが、今後は高校生、大学生の卒業生を呼び、多くの人からの刺激を受けられる機会をつくっていかうと考えています。



3月予定

- 1日(火) 都立高校一次(分割前期)発表日
- 2日(水) 専門委員会、小笠原事前学習会
- 3日(木) 能楽鑑賞教室(3年)、中央委員会
- 4日(金) 普通救命救急講習(3年)、自転車シミュレーター交通安全教室(1年) 都立高校二次(分割後期)出願日
- 7日(月) 生徒集会、いのちの授業(3年) 文化発表会展示の部(始)、学校運営協議会
- 8日(火) 防災講演会、保護者会
- 9日(水) 都立高校二次(分割後期)入試日 PTA運営委員会
- 10日(木) セーフティー教室(薬物乱用防止教室:3年)
- 11日(金) いのちの授業(2年)、球技大会(3年)
- 12日(土) 学習発表会、文化発表会展示の部(終)

- 14日(月) 振替休業日
- 15日(火) 朝礼、卒業式予行、都立二次(分割後期)発表
- 17日(木) 卒業式準備
- 18日(金) 卒業式
- 20日(日) 春分の日
- 21日(月) 振替休業日
- 22日(火) 小笠原自然体験(始)
- 23日(水) 球技大会(1年)
- 24日(木) 球技大会(2年)、大掃除
- 25日(金) 修了式

令和4年度 始業式 4月6日(水)
入学式 4月7日(木)